



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第 420 号 令和 1 年 7 月 25 日 (木)

発行 税理士法人 KJ グループ

〒536-0006 大阪市城東区野江 4 丁目 1 番 6 号

TEL : (06) 6930-6388

FAX : (06) 6930-6389

資産運用最大手がウェアラブル端末を導入投資判断にも健康状態が問われる時代？

6.5兆ドルもの資産を運用する業界世界最大手のブラックロック社が、ユニークな取り組みを始めた。睡眠状態や心拍数などのデータを収集できる指輪型のウェアラブル端末「スマートリング」（オーラ社製・フィンランド）を試験的に導入し、資産運用担当者に装着させているのだ。現在、欧州株チーム内の一部署で実施しているという。このプロジェクトは「健康で精神的に落ち込んでいることがより良い投資判断につながる」という仮説に基づくもので、従業員の健康維持が目的。一見すると健康経営の取り組みの一環のように捉えられるが、狙いはそれだけではないようだ。

心拍数を細かく計測することで、心拍変動により投資判断を行ったときのストレスの高まり具合を「見える化」できる。睡眠時間などとの相関関係を解析すれば、「より良い投資判断を下せる担当者」の指標を数値化することも可能だろう。

これは積極的にビッグデータの活用を進めてきたブラックロック社ならではの取り組みだが、昨年には株価指数の大幅下落を記録するなど資産運用業界が厳しい状況下にあることも、その背景のひとつだろう。今後は“人減らし”が資産運用業界のトレンドになるとの指摘もあり、業界再編の動きが加速することも考えられる。そのような状況だからこそ、スタッフの健康促進や投資判断の管理などで、人材能力の引き上げを図ろうとしているのかもしれない。